

港中だより

伊勢市立港中学校 No.3

R3. 4. 16

校長 金森 晃生

令和3年度学校経営方針

全ての生徒がいきいきと輝くために

～自他共に大切にし、思いやりの心を持った生徒集団の育成～

本校では、保護者・地域の方々や関係機関との連携のもと、重点課題としてこれまで生徒指導の充実に取り組んできました。平成22年度からの7年間は、「誠実」を合言葉に、広い意味での生徒指導の充実を図り、問題行動への対処だけではなく、日々の学校生活を通して生徒たちに「より良い人生を歩むためにどうあるべきか」を考えさせる教育活動を行ってきました。学習指導、生活指導すべてを含む生徒指導に継続して取り組み、当たり前のことを当たり前に行うことができる生徒、自分の将来を見据えて物事を考えられる生徒を育て、その中で人権感覚を養い、道徳心、規範意識の向上を図り、将来、地域社会に貢献できる生徒の育成に努めてきました。その成果として、生徒たちには生徒会活動を中心により良い港中学校を創ろうという行動や活動が随所に見られ、学校全体としては落ち着いた状況になっています。その積み重ねの上に立って、平成30年度からは「思いやりの心」を合言葉に“誰もが安心して、楽しく登校できる学校づくり”を目指し、全教職員が一丸となって取り組んでいます。3年で大きな成果をみることはできませんが、生徒たちの意識の中に「思いやりの心」が少しずつ浸透してきているように思います。その表れとして、人を大切にする、相手の立場に立って行動する場面が学校内外で見受けられるようになりました。また、学校全体が明るく、落ち着いた雰囲気の中で学習、部活動あるいは生徒会活動などが充実してきています。今年度も、引き続き「思いやりの心」を持つことができる生徒の育成と、自主性、さらには、道徳心や規範意識についても日々の教育活動を通じて継続的に指導していくことが必要です。人権教育、特別支援教育など心の教育に取り組むことが、学力の向上にも繋がることだと確信しています。

学習面ではこれまでも少人数集団による指導を中心に取り組み、指導方法の工夫改善を図ってきましたが、基礎基本の定着については、家庭学習との関連も含めてさらなる指導の充実が必要です。そして、よくわかり、自ら考える授業の実現のため、多角的に深く教材研究を行い、真の意味での学習の楽しさを実感させる授業実践を目指します。さらには、タブレットなどICT機器を使用した授業を行うことで、自ら学ぶ力をつけていきます。授業時間の充実こそが問題行動改善の最善最短の方法であるとともに、自尊感情の醸成にもつながるという認識で日々の教育活動を行います。また、これから先の生活、将来の展望を考える力を養います。加えて、家庭との連携のもと学習習慣の確立に向けての取組を工夫し、タブレットを使うなど生徒一人ひとりの生活の中に家庭学習の時間を定着させ、規則正しい生活リズムを確立させたいと考えています。

生徒指導については、現在の生徒の様子や生徒を取り巻く社会の状況を踏まえ、特にSNSの使い方など、情報モラルの徹底を図り、自分を大切にするとともに周囲の友だちの気持ちを考えられる「思いやりの心」を持った生徒の育成に努めます。

徳育面については、道徳の時間を中心に、全ての学校生活を通して一貫性のある指導を行い、道徳心や規範意識を育みます。知識だけでなく行動や言葉、意識、態度に表れる生徒の育成を目指します。

これらの教育活動を全ての教職員が十分に理解した上で、一人ひとりの生徒を大切にしながら心をひとつ

にして取り組むこととします。新型コロナウイルスの影響を受ける中で、生徒にとって何が必要かを再確認しながら、実行できるための工夫をし、感染症予防対策にも取り組みながら、充実した教育活を目指します。

以下に具体的内容を記します。

- (1) 学習指導要領に基づき、「生きる力」の育成に努めます。
- (2) 生徒一人ひとりが興味・関心を持ち、主体的に学習する指導を進めます。
- (3) 人権尊重の精神を培い、命を大切にし、人権教育の充実に努めます。
- (4) 特別支援教育の充実に努めます。
- (5) きめ細かい生徒指導に努めます。
- (6) 生徒の安全確保に努めます。
- (7) 学級・学年経営を大切にします。
- (8) 一つ一つの研修が、相乗効果をもたらすような研修の推進を図ります。
- (9) 家庭や地域社会との連携を強めます。
- (10) 教職員の健康管理に配慮し、教職員も元気のある学校づくりを目指します。

学校教育目標については、引き続き『全ての生徒がいきいきと輝くために』とし、サブテーマは『自他共に大切に、思いやりの心を持った生徒集団の育成』と設定します。

学校教育目標の具現化には保護者・地域の方々の理解と協力が不可欠です。そのために、教職員も日々の努力を惜しまず教育活動に取り組み、教育目標の具現化を図る具体的な取り組みを日々の教育活動を通して行うこととします。同時に、学校からの情報発信を積極的に行い、保護者、地域、関係機関との連携を充実させながらより良い港中学校を創りあげます。

(1) めざす生徒像

- ① 思いやりの心を持つことができる生徒
- ② 命を大切にする生徒
- ③ 確かな学力を持った生徒
- ④ 自分で考え、行動できる生徒

(2) めざす学校像

- ① 安心・安全な学校
- ② 楽しく、一人ひとりに居場所がある学校
- ③ 明るく元気な学校
- ④ 何事にも誠実に思いやりの心を持って取り組む学校
- ⑤ 生き生きとした学習活動・教育活動が営まれる学校

(3) めざす教師像

- ① 生徒とともに考え、支える教職員
- ② 授業で生徒を鍛え、育てる教職員
- ③ 保護者・地域と連携する教職員
- ④ 協調し協力しあう教職員
- ⑤ 互いに学び、高めあう教職員
- ⑥ 思いやりの心を持ち、人と接することができる教職員

なお、港中学校ホームページには、さらに詳しく港中学校の教育活動についてご説明しております。インターネットで「伊勢 港中学校」を検索していただくとご覧いただけます。また、緊急時の対応、行事予定、学校での出来事（トピックス）、学校だよりなども掲載しております。ぜひ、ご覧いただき、保護者、地域のみなさまとともに、港中学校区の子どもの健やかな成長を支えていきたいと思っております。

これからもご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。